

# 事業の概況

Business Review

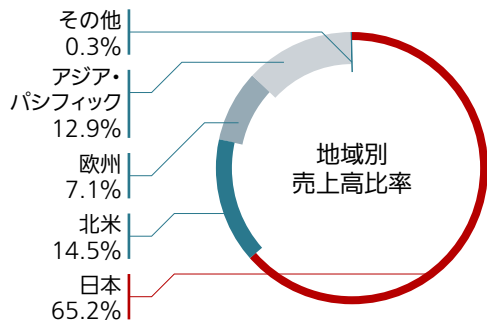
## 地域別・製品別業績の概況

当期は、期後半における急激かつ大幅な設備投資需要の減少を背景に、電機・半導体・自動車関連業界をはじめとして、広く国内外ともに、設備投資の凍結・抑制傾向が一層強まる展開となりました。

そうした中、防爆・防災関連機器製品は、メンテナンス需要に支えられ、通期で比較的堅調に推移しましたが、主力の制御用操作スイッチや安全関連製品を含む制御機器製品群を中心に、全般的に売上高が大きく減少しました。

国内 **65.2%** 18,246百万円  
前年同期比 16.9%減

海外 **34.8%** 9,756百万円  
前年同期比 22.5%減



## 制御機器製品

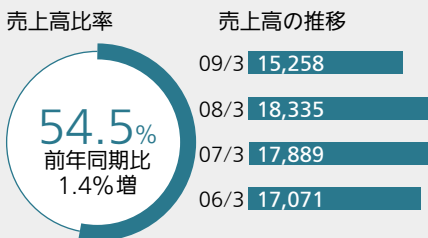
売上高前年同期比 **16.8%減**

### 事業アイテム

HMI(人と機械が触れ合う環境)の核となる盤面機器「**制御用操作スイッチ**」「**表示灯**」や、現場の安全システムを実現する「**安全関連製品**」のほか、「**タイマ**」「**リレー**」「**サーキットプロテクタ**」「**センサ**」ならびに「**産業用LED関連製品**」などの製品群です。



▲非常停止用押ボタンスイッチ XA形



### 制御機器製品の概況

2007年度以降、着実にそのラインナップを拡張させてきた産業用LED照明ユニットは、当期においてもその売上高を大きく拡大させましたが、主力の制御用操作スイッチをはじめとして、リレー、サーキットプロテクタならびに安全関連製品の売上高が大きく減少しました。その結果、制御機器製品全体の売上高は、前期比16.8%減の152億5千8百万円となりました。

## 制御装置およびFAシステム製品

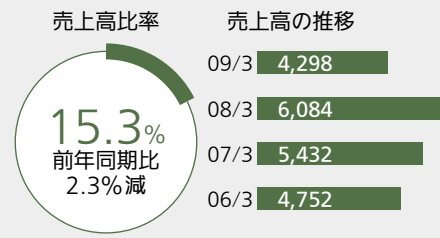
売上高前年同期比 **29.4%減**

### 事業アイテム

機械・装置の頭脳の役割をする「**プログラマブルコントローラ**」や、人と機械の対話機器「**プログラマブル表示器**」「**ペンダント**」、パネル標準化を実現する「**Eパネル**」のほか、「**伝送システム**」「**バーコードリーダ**」などの「**トレーサビリティ関連製品**」の製品群です。



▲プログラマブル表示器 HG2G形



### 制御装置およびFAシステム製品の概況

制御装置およびFAシステム製品の約半分の売上を占めるプログラマブルコントローラが、その主要販売先である欧州地域において大きく減少しました。また、前期、国内において好調だったプログラマブル表示器も当期は落ち込み、制御装置およびFAシステム製品全体の売上高は、前期比29.4%減の42億9千8百万円となりました。

## 制御用周辺機器製品

売上高前年同期比 16.4%減

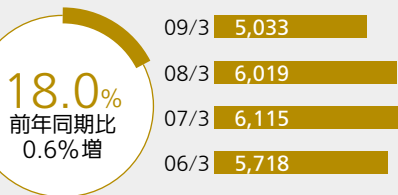
### 事業アイテム

機械・装置などの制御部分のベーシックな機器「スイッチング電源」「通信ターミナル」「端子台」「ソケット」「コントロールボックス」などの製品群です。



▲スイッチング電源 PS5R-S形

売上高比率 売上高の推移



### 制御用周辺機器製品の概況

一般的な設備投資需要の低迷を受け、国内において、端子台が大きく減少、また、国内および北米地域において、スイッチング電源の売上が落ち込んだ影響により、制御用周辺機器製品全体の売上高は、前期比16.4%減の50億3千3百万円となりました。

## 防爆・防災関連機器製品

売上高前年同期比 2.5%減

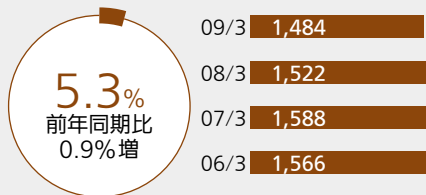
### 事業アイテム

石油・化学プラントはもちろん、一般工場など、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「本質安全防爆機器」「耐圧防爆機器」「内圧防爆機器」「安全増防爆機器」や「防災機器および関連機器」などの製品群です。



▲タッチスイッチ付表示器 EX4R形

売上高比率 売上高の推移



### 防爆・防災関連機器製品の概況

プラント設備関係のメンテナンス需要に支えられ、他の製品群と比べて通期で比較的堅調に推移し、当期の売上高は、前期比2.5%減の14億8千4百万円となりました。また、当期においては、コントロールボックスとしては国内初のATEX指令(新欧州防爆指令)に適合した耐圧・安全増防爆構造コントロールボックスを新たに発売しました。今後も、国内ユーザーの輸出機械などへの対応のみならず、海外での販売も積極的に推進していきます。

## その他の製品

売上高前年同期比 25.1%減

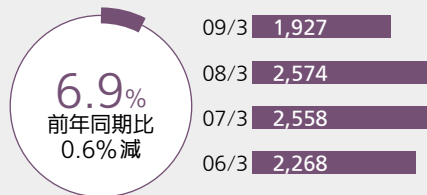
### 事業アイテム

HMI(人と機械が触れ合う環境)をトータルな視点から考え、最適環境を提案・構築する融合型製品「HMIソリューション製品」「セキュリティ製品」や「一般用LED照明」、環境問題を解決する装置「気泡水製造装置」「オゾン注入装置」などの製品群です。



▲RFID鍵管理システム

売上高比率 売上高の推移



### その他の製品の概況

当期において新たに発売を開始した、建物・空間用途向けの一般用LED照明が新たな需要を掘り起こし、順調な立ち上がりを見せましたが、HMIソリューション製品の売上の落ち込みの影響が大きく、全体の売上高は、前期比25.1%減の19億2千7百万円となりました。

## 連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

科 目	当 期 末	前 期 末	前期末との増減
流 動 資 産	18,299	21,502	△3,203
固 定 資 産	14,979	16,197	△1,217
流 動 負 債	5,919	8,845	△2,926
固 定 負 債	1,522	1,201	320
純 資 産	25,837	27,652	△1,814
総 資 産	33,279	37,700	△4,420

## 連結損益計算書のポイント

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	増 減	前 期 比
売 上 高	28,002	34,536	△6,533	81.1%
営 業 利 益	1,461	4,366	△2,904	33.5%
経 常 利 益	1,232	3,919	△2,687	31.4%
当 期 純 利 益	184	2,241	△2,056	8.2%

## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,261	4,480	△2,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	85	△1,504	1,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,121	△3,009	887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285	△577	292
現金及び現金同等物の増減額	△59	△610	551
現金及び現金同等物の期首残高	6,880	7,490	△610
現金及び現金同等物の期末残高	6,821	6,880	△59

## 総資産 前期末比44億2千万円減少

前期末に比べ、主に流動資産のうち売掛金が、また、投資有価証券の売却や株式市場低迷の影響により、投資有価証券が減少したことにより、総資産は前期比44億2千万円減少し、332億7千9百万円となりました。

## 営業利益 減収に伴い、29億4百万円減少

売上原価および販売管理費の削減に努めましたが、大幅な減収による利益の減少を補うには至らず、営業利益は前期比29億4百万円減少し、14億6千1百万円となりました。

## フリー・キャッシュフロー 23億4千7百万円の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは、大幅な減益に伴い前期比22億1千9百万円減少しましたが、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却益などにより、前期比15億9千万円増加しました。その結果、当期のフリー・キャッシュフローは23億4千7百万円の収入となりました。

## 負債総額 前期末比26億6百万円減少

急激な需要の低下に伴う生産量の調整の結果、流動負債のうち買掛金・支払手形が減少したこと、また、収益の減少に伴い、期末の未払法人税が減少したことなどにより、負債総額は前期比26億6百万円減少し、74億4千1百万円となりました。

## 当期純利益 減損処理による特別損失を計上

株式市場低迷の影響により、投資有価証券評価損を3億5百万円、また、持分法による投資損失3億7千9百万円を計上した影響もあり、当期純利益は前期比20億5千6百万円減少し、1億8千4百万円となりました。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー 21億2千1百万円の支出

当期においては、自己株式の買付が減少したことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期比8億8千7百万円支出減の、21億2千1百万円の支出となりました。



より詳細な財務情報をご希望の方は、IDECホームページ「投資家情報」  
[http://www.idec.com/jpja/investor\\_center/index.html](http://www.idec.com/jpja/investor_center/index.html)  
に掲載している決算短信をご利用ください。